

インタビュー サマリー



	母親 本島	母親 離島	男子	女子
プロフィール	<p>全6名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1名を除いて、全員が専業主婦 ・沖縄旅行は3回目以上のリピーター 	<p>全5名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1名を除いて、全員が専業主婦 ・沖縄旅行は3回目以上のリピーター 	<p>全5名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が週3～4日以上、習い事をしている ・ゲームは全員やっている 	<p>全3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が週3～4日以上、習い事をしている ・ゲームはやらないとのことだったが、「友達コレクション」「動物の森」などはやっている
旅行スタイル	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が旅行好きで、夫婦の実家への帰省を含め、長期休暇のほとんどの機会に旅行をしている人が多い。「行かないと気がすまない」。 ・週末や日帰りなどの“プチ旅行”は、夫抜きで子供とでかけたり、自分の住んでいる県をドライブで回るなど、ちょっとしたお出かけを積極的に楽しんでいる ・行き先は、大阪のUSJ、軽井沢、北海道、湯布院、日光・鬼怒川、熊本・新潟(帰省)、福島、季節のスポーツ(海水浴・スキー)ができるところ 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が旅行好きで、夫婦の実家への帰省を含め、長期休暇のほとんどの機会に旅行をしている人が多い。 ・本島グループに比べて、「主人の仕事が忙しいので」という意見が多くみられ、忙しいので大きい旅行は年に1回程度、あるいは週末を利用した旅行が多いという意見もみられた。 <p>子供の通学先や旅行先から判断し、離島グループの方が、より余裕がある雰囲気</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間に1～2回程度、旅行に行っている →海外に行っていたのは2名 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間に1回以上、旅行に行っている
<p>基本的に「旅行好き」な人たち。</p> <p>長期休暇や週末の旅行に、家族で積極的に出かける。</p> <p>また、年間2～3回以上、子連れで帰省や旅行をしている人がほとんどであり、暮らし向きに余裕がある人が多い。</p>		<p>沖縄以外に、1～2箇所は旅行に行っている子供がほとんどで、あわせると年に1～2回以上、旅行に行っている。</p> <p>ふだんの週末など、家族で一緒にでかけることも多い</p>		

「家族旅行」全般の選択行動

	母親 本島	母親 離島	男子	女子
優先しているポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・子供と一緒に楽しめるところ <ul style="list-style-type: none"> →子供が喜ぶスポーツができる →テーマパーク ・手間・手数が省ける <ul style="list-style-type: none"> →部屋食 →連泊できる(移動の手間を省く) ・家族の人数に合わせた部屋の大きさが選べる <ul style="list-style-type: none"> →コネクティングルームなど ・大人が楽しめる <ul style="list-style-type: none"> →子供を預けておいて、親も楽しめる →エステがある ・お得感 <ul style="list-style-type: none"> →同じ行き先でも、安い日程 →ついてくるオプションや特典の数 →価格の上限を決めて見比べる <p style="text-align: center;">本島グループでは、「お得感」の重視傾向が強い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供と一緒に楽しめるところ <ul style="list-style-type: none"> →体験ができる →普段出来ないことができる →プールがあるところ ×京都や日光東照宮などは、何かを調べるとい う課題が与えられている場合以外は、子供に は楽しめない ・手間・手数が省ける <ul style="list-style-type: none"> →勝手がわかっている行き先(すでに行ったこと のある旅行先や宿泊先) →連泊が可能なツアー ・大人が楽しめる <ul style="list-style-type: none"> →旅行は基本的に大人が楽しむもの 		
情報源	<ul style="list-style-type: none"> ・Web <ul style="list-style-type: none"> →見比べる →直接申し込む ・パンフレット <ul style="list-style-type: none"> →いろいろな行き先が載っているものを、比較 検討の材料として(旅の友、阪神交通社) →ホテルの外観や内装などの参考資料として ・口コミ <ul style="list-style-type: none"> →行ったことのある友人のおすすめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・口コミ <ul style="list-style-type: none"> →子供の学校のお友達が行って、楽しかった というのを子供が聞いてきた →何度も沖縄・離島に行っている友達が、 〇〇島がとてきれいだといっていたので 		
子供の関与	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の関与はあまり強くない <ul style="list-style-type: none"> →子供が中学生以上の場合、一緒に検討して決める場合もあるようだが、基本的には親が決める ケースが多い →親が決めたいくつかの候補の中から多数決で選んで、結果的に子供の行きたい行き先に決定 するパターンもある 		<ul style="list-style-type: none"> ・行き先は親が決める <ul style="list-style-type: none"> →行き先も多数決で、という子は、男子1人だった →はっきりと行きたい場所があるわけではなさそう(知らなさそう) ・旅行先で何をやるかは、多数決で決まることもあり、意見がいろいろ。 	
	<p>▼</p> <p>行き先は、子供が楽しめる場所であることが優先。 ただし、検討行動や決定は、親主導で行っている</p>		<p>▼</p> <p>子供から見ると、旅行先は「親が決める」もの</p>	

「沖縄」と競合の違い・旅行先として選択した理由

	母親 本島	母親 離島	男子	女子
競合	<ul style="list-style-type: none"> ・国内 →千葉の館山や房総、福島のパウアンズ ・海外リゾート →グアム、バリ、ハワイなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外リゾート →グアム、ハワイ、グレートバリアリーフ、フィジー、アジアリゾート など →キラウエア火山など、自然のあるところ 		
沖縄の魅力	<p>■競合と共通する魅力・・・「ビーチリゾート」のノンビリ感が楽しめること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暖かい ・のんびりできる ・異国情緒がある・南国リゾートである ・食べ物がおいしい ・海や自然がきれいであること 			
	<p>■沖縄ならではの魅力・・・「日本国内」であることの安心感と利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性 →治安の良さ、周辺環境のよさ(銃を持った人が街中にいないなどの) ・安心感 →子供の急病の際など、日本語で大丈夫というのは非常に安心 ・アクセスなど行動面での“気軽”さ →空港までのアクセスがよい。遅くまで現地においても、その日のうちに自宅に戻れる →特別にツアーなど申し込む必要がなく、気軽に海や自然を楽しむ ・人がやさしい・おおらか →子供が迷子になったときに探してくれる/混んでいないときはサービスしてくれる など 		<p>離島グループでは、沖縄は海外より安い、という感覚の人も少数派ながらいた</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海がきれい ・人が親切・やさしい →迷子になったときに、声をかけてくれて、案内してくれた →タクシーが安いし、運転手さんが優しくて、割引券などをくれる/秘密の場所に案内してくれた
離島の魅力	<p><行ったことがない理由>・・・価格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一度は行ってみたいが高い ・プレミアムな感じで、金額的にもプレミアム →1人あたり料金＝本島のプラス3万円の印象 ・移動距離が長くなるので、子供連れだと面倒 <p>離島は、本島以上に魅力がありそうだが高価で、面倒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本島よりも、海がきれい ・海外リゾートと比べても、海がきれい ・手付かずの自然がある <p>離島の海の美しさは、世界でも有数</p>		
<p>沖縄の魅力は、異国情緒を感じられるビーチリゾートでありながら、安全性・利便性が高く、安心できる“国内”であること。 海外よりも気軽に、「美しい海」を楽しむ。</p> <p>子供も喜ぶし、自分も安心して、のんびり楽しめる</p>				

直近の「沖縄旅行」でおこなったこととその魅力

- ▶ 本島グループの一部の経験を除いて、「ここがいまひとつだった」という思い出はほとんどみられず、沖縄旅行は全般に「楽しかった」思い出として残っている。
 - 文化や歴史を学ぶ効果を期待した首里城や平和祈念公園などについては、期待が大きかった分、展示に物足りなさを感じたという母親もみられた。

	母親 本島	母親 離島	男子	女子
アクティビティ	<p>■マリンアクティビティが中心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素もぐり・シュノーケリング・ダイビング体験 ・パラセーリング、マリンジェット、バナナポート ・サンセットクルーズ <p>■海以外の自然体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜の体験ツアー（蛍を見に行くツアー） ・森・沢などをめぐるツアー（ハイキング） <p>■クラフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琉球ガラス→ ホテル内で、移動せずにできる ・シーサーづくり <p>子供だけが楽しんだのではなく、「子供と一緒に楽しめた」</p>	<p>■マリンアクティビティが中心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素もぐり・シュノーケリング・ダイビング体験 ・いるかと遊ぶ・海亀を見る ・パラス島ツアー、シーカヤック <p>■海以外の自然体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流星観測 <p>■クラフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拾った貝殻をつかってフォトフレームづくり ・シーサーの絵付け ・さんごを使用したキャンドルづくり 	<p>遊びや施設などの見学を通して、東京では見たことがないものを「発見した」喜びが大きい</p> <p>クマノミなどのきれいな魚を見た、かもめの卵を発見した、ジンベイザメを見たヤドカリを見た、へんな形のウニがいた、大きいカブトムシがいた</p> <p>■マリンアクティビティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュノーケリング ・無人島探検（コマカ島・ナガヌ島） ・水上スキー・バナナポート <p>■クラフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンドル作り ・拾ったタカラガイでランプづくり <p>■楽しかった施設など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美ら海水族館、昆虫博物館、ビオスの丘 ・パイナップル園 ・青の洞窟、ホテルのプール ・竹富島で牛車&三線 <p>※いろいろ行ったが、面白くない所はなかった</p>	<p>沖縄の海や森、島全体の風景が「キレイだった」という思い出が強く残っている</p> <p>青の洞窟が光って見える、小浜島の椰子の木の中、黒島の海、いろいろな蝶、砂浜、ペンションからみた夕日、竹富島のおうちの屋根の上にあったシーサー、咲いていた花など、いろいろな風景が「すっごくキレイだった」</p> <p>■マリンアクティビティなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュノーケリング ・バナナポート ・サイクリング <p>■クラフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーサー絵付け ・キャンドル作り <p>■楽しかった施設など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美ら海水族館、昆虫博物館、ビオスの丘 ・竹富島で牛車&三線 ・鍾乳洞や滝
観光施設など	<p>■楽しかった/子供と一緒に楽しんだ施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋公園、水族館 ・玉泉洞 ・古宇利島（へ渡る橋） ・パイナップル園 <p>■いまひとつだった/子供が喜ばなかった施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首里城 →再現されたのはわかったが... ・平和祈念公園 →展示がいまひとつ ・青の洞窟 →狭い上に、混んでいた 	<p>離島グループでは、観光施設的なところに行っている人はいない</p> <p>▼</p> <p>用意されたツアーなどよりも、目の前の海で魚を観察するなど「ありのままの自然」を満喫したという人が多い</p>		
グルメ	<p>■沖縄らしいものを食べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄食材：公設市場やホテル内のレストラン ・沖縄そば・ソーキそば・ゴーヤチャンプルー ・A&Wのポテト（カーリーフライ） ・おやつも沖縄らしいものを →サーターアングギー、海ぶどう、ブルーシールアイスクリームなど ・フルーツ（ホテルの朝食ブッフェ） <p>■（リピーターなので）あえてはまず</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元のお弁当屋さん ・子供は沖縄でもトンカツなどを食べたりする 	<p>■沖縄らしいものを食べる・買う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石垣牛 ・辺銀食堂のラー油 ・島豆腐 ・油味噌 ・雪塩 ・海ぶどうやスパム、モズクを大量に 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーキソバ ・トロピカルマウンテン 	<ul style="list-style-type: none"> ・海ぶどう →沖縄で食べるほうがおいしい ・カキ氷 ・ソーミンチャンプルー ・シークワサージュース ・スナックパイン、パイナップル ・焼肉、石垣牛 ・紅芋たると、ちんすこう、サーターアングギー ・シークワサー味のハイチュウ
宿泊先など	<ul style="list-style-type: none"> ・リゾートホテル <p>交通手段は、共通してレンタカー利用 離島の1名を除き、全員がパッケージツアーを利用（ただし、観光は最小限のフリープラン）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リゾートホテル ・コンドミニアム 		

体験したことすべてが「楽しかったこと」として記憶に残っている。
 食べ物の好き嫌いなどはあるものの、見たものすべてが「面白かった」という印象

宿泊先に求めること

▶ 宿泊先に対しては、「子供」よりも「親の意向」が優先で、「自分が楽しめる」「自分が楽をできる」ような施設や仕掛けを求める傾向がある

	母親 本島	母親 離島	男子	女子
宿泊先	・リゾートホテル	・リゾートホテル ・コンドミニアム	・リゾートホテル	・リゾートホテル ・ペンション
選び方	<ul style="list-style-type: none"> ・「リゾート」らしさ →内装やアクティビティがリゾートらしいところ ・利便性 →行きたいところへの拠点になる場所 →空港からの距離 →ホテルを中心にどこに遊びに行けるか ・連泊できるところ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が泊まりたいところ →以前から泊まりたかったホテルに →自分が泊まって気持ちのよいところ ・連泊できるところ 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルでは朝食のみの人が多いため、食事について宿泊先に求めることはあまり多くない →ホテルの食事は高いので、外食する ・フルーツがいろいろ食べられる →フルーツがいろいろあって子供が喜ぶ ・アクティビティの一環として →朝食を作ってみようという子供向けの夏休み企画があって、楽しそうに参加していた 		・バーベキューをした	
宿泊先にあるとよい設備など	<ul style="list-style-type: none"> ■子供向けに ・プール・監視員つきのきちんとしたプール(基本的には必ずいるはずだが、「いない」という認識) ・クラフト体験 →雨の日や、夕食後などの空時間にできる ■自分にとって効率的・便利な施設 ・大浴場 →部屋のお風呂に1人ずつ入ると時間がかかるが、大浴場なら一度に済む ・無料のランドリー(洗濯機&乾燥機) ・コネクティングルームなど、大人数家族でも対応可能な部屋 		<ul style="list-style-type: none"> ・ウォータースライダー ・オーシャンビューの景色 	<ul style="list-style-type: none"> ・キレイな景色 →ペンションから見た夕日がきれいだった
	<ul style="list-style-type: none"> ■自分が楽しめる施設 ・スパ・エステ ・買い物できるところ 	<ul style="list-style-type: none"> ■トラブルがないこと・トラブル対応力 		

子供が楽しめることに加えて
自分が楽しめる・自分がのんびりできるための施設や仕掛けを求める

コンセプト評価 <母親グループ>

▶そもそもの目的である「海」「自然」を楽しむというコンセプトが、全般に好評。

- 特に、コンセプト②については、「海」「海中」だけでなく、「森」「無人島」など、これまで知らなかった沖縄の自然の魅力が感じられる点が好評であった。
- ・離島グループでは、すでに自然を満喫している人が多いためか、本島グループよりも若干、反応が鈍い傾向があった。

		母親 本島グループ	母親 離島グループ	
② 自然 体験	青い海や深い森の中で、自然体験ができる沖縄	<p>◎ 海+それ以外の魅力</p> <p>◎海をさらに楽しむ →ジンベエザメと泳げるのはすごい →熱帯魚観察はとても沖縄らしい</p> <p>◎「海」だけでない沖縄 →沖縄=海というイメージがあり、「森の中」は新鮮 →(森のツアーの体験者の話を聞いて) 本島でもそういったことができると知ったので、 次回はやってみようと思った</p>	<p>○ 全体的によいが、ワイルドすぎるのもイヤ</p> <p>◎全体的に良い →自分ではできない・企画できない内容 →自分が理想とする沖縄旅行</p> <p>△自由に行動できるなら良い →離島の魅力は、こういったことが、「お仕着せ」でなく楽しめる ところなので、あまり用意されすぎてもつまらない</p> <p>×自然が深すぎるのは苦手 →ジャングルや無人島も、深すぎると怖い →トイレなど完備でないし無理 →サメと泳ぐのは怖いかな・・・エイなら</p>	<p>ガンガラーの谷 無人島上陸体験 マングローブカヌー ビーチBBQ 熱帯魚とサンゴ礁の海シュノーケリング ジンベエザメシュノーケリング 南十字星観察 海開き 釣り やんばるの森 ホエールウォッチング</p>
	青く美しい海で泳いだり、アクティビティに参加したり、 白い砂浜で遊んだりできる沖縄	<p>△ → 悪くないが当たり前すぎる</p> <p>◎安心感がある →「安全・安心なビーチ」は改めて言われると 知らなかった魅力ポイント</p> <p>×あたりまえすぎる・インパクトがない →本土と違う気候とビーチは、沖縄旅行の「前提条件」</p>	<p>△ → 悪くないが当たり前すぎる</p>	<p>本島・離島のビーチ グラスボート パラセーリング シーカヤック シュノーケリング 海開き 無人島上陸体験</p>
① 海 遊び				

※オレンジ色の文字=魅力的とした人が多かった部分

コンセプト評価 <母親グループ>

- ▶「自由研究」「エコロジー」など、学習効果を狙ったコンセプトは、“オプション”としてなら新しい考え方として受容された。
 - ただし、メインのテーマではなく、“オプション”的な位置づけと考えられる。
 - また、「親がのんびりする」ことも大きな目的のひとつのためか、何かを「勉強する」というコンセプトの“堅さ”に対して、若干の否定的な意見がみられる。
 - 定番観光メインのコンセプトは、リピーターに対してはほとんど響かない。

	母親 本島グループ	母親 離島グループ	
<p>③ 自由研究 (体験×学び)</p> <p>遊びながら、自然やものづくりなどの知識を幅広く吸収でき、自由研究にも役立つ沖縄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行と子供たちの自由研究を兼ねることができます。 ・水族館、植物園、博物館見学などを通して、沖縄特有の自然や文化について学ぶことができます。 ・シーサーづくりや、琉球ガラス体験、黒糖づくり体験などの各種ものづくり体験を通して、沖縄旅行の思い出土産づくりや、自由研究の作業をすることができます。 	<p>△ 親も参加できるが、メインではない</p> <p>◎沖縄の文化には、親も興味あり →いまさら聞けないこともあるので一緒に経験する →せっかくきたのだから、文化について知るのもいい</p> <p>△子供のタイプで評価が分かれるが、ニーズはある →もともと工作が好きなので、やりたがると思う →もの作りに興味を示さないのも、いまひとつ</p>	<p>△ メインではないが、空き時間やシーズンオフに</p> <p>○やり方によっては興味がある →夜8時以降や雨の日、冬の期間のメニューの1つとしてあったら参加してもいい →生きたサンゴとそうでないものの違い、現地のおじいさんの話を聞くなど、内容を工夫する必要がある</p> <p>△子供のタイプで評価が分かれるが、ニーズはある →男の子はやりたがらないかもしれない</p>	<p>ちゅら海水族館 琉球村(各種体験) 首里城 シーサーづくり体験 沖縄県立博物館・美術館 南部戦跡 琉球料理づくり体験 東南植物楽園 黒糖工場見学/黒糖づくり体験 さとうきび収穫体験</p>
<p>④ エコロジー</p> <p>遊びや体験を通じて、自然にエコロジー意識を高められる沖縄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マングローブ林でのカヌーや、無人島上陸など、ありのままの自然にふれる体験を通して、自然の美しさ、偉大さを体感することができます。 ・塩づくり、黒糖づくりなどの体験などを通して、自然由来のものづくりを学ぶことができます。 ・再生ガラス工房見学など、各種の体験を通して自然保護・再生・循環など、エコロジーの大切さを学べます。 	<p>△ → 自然に身につくならよい</p> <p>◎アクティビティ自体には興味あり →沖縄ならではの体験</p> <p>×首都圏でも体験できることには興味なし →再生ガラス工房は沖縄でなくてもできる</p> <p>×家族旅行のコンセプトではない →旅行ではなく、身近で感じて欲しい →学校の行事(遠足など)で触れて欲しい →自然に刷り込まれるような感じなら良いが...</p>	<p>△ → 考え方として新しさは感じるが...</p> <p>◎「エコを意識する」というテーマは新しい</p> <p>×家族旅行のコンセプトではない →旅行ではなく、身近で感じて欲しい →修学旅行っぽい →自然に刷り込まれるような感じなら良いが...</p>	<p>再生ガラス工房見学 ビーチコーミング 塩づくり体験 さとうきび収穫体験 黒糖工場見学/黒糖づくり体験 星空観察/バードウォッチング マングローブカヌー やんばるの森 無人島上陸体験</p>
<p>① 定番観光メイン</p> <p>人気の観光スポットを巡る沖縄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄の中でも、特に人気の観光スポットを網羅することができます。 ・沖縄のソーキンパ、チャンプルーをはじめとした定番人気グルメを味わうことができます。 ・観光中に沖縄の青く透き通った海などの絶景を見ることができます。 ・アウトレットや免税店などで、お得にお買い物を楽しむことができます。 	<p>× 初心者向け</p> <p>×リピーターには楽しめない。初心者向け</p> <p>○免税店は魅力だが...</p>	<p>× 具体性がない</p> <p>×具体的ではないし、忙しそう</p> <p>○1人でいなら、いろいろ楽しめてよいのかもしれない</p>	<p>ちゅら海水族館 国際通り アメリカンビレッジ 定番グルメ シュノーケリング 首里城 アウトレット 海中道路 グラスボート体験 古宇利大橋 各種ビーチ</p>

※オレンジ色の文字=魅力的とした人が多かった部分

コンセプト評価 <子供グループ>

- ▶「海で遊ぶ」ことが一番楽しいという反応
- ▶「沖縄ならではの思い出」が作りたい、という気持ちが高い
 - 海、森など、首都圏では体験できない自然
 - サトウキビなど、沖縄ならではの素材をつかった体験
 - シーサー、貝殻などをつかったものづくりなど

② 自然 体験	<p style="text-align: center;">青い海や深い森の中で、自然体験ができる沖縄</p> <p>・青い海・深い森などの豊かな自然のなかで、冒険心(ぼうけんしん)をくすぐる体験ができます。</p> <p>・無人島(むじんとう)への上陸や、森の中でカヌー(小さなふね)に乗ったり、でっかい海での船こぎの体験(たいけん)を通して、しぜんのすごさや美しさを体験できます。</p> <p>・海を泳ぎながらオレンジや黄色の、ニモのような魚を見たり、ジャングルでカヌーに乗ったり、海ででっかいジンベエザメと泳いだり、沖縄以外ではできないスゴい体験をすることができます。</p>
TOP 海 遊 び	<p style="text-align: center;">青く美しい海で泳いだり、白い砂浜で遊んだり、海で遊ぶプランに参加したりできる沖縄</p> <p>・沖縄のビーチはとともきれいで、ふだん行く海とはちがう、とても青く澄んだ海と真っ白な砂浜が広がっています。</p> <p>・一年中、小学生も楽しめるパラセーリングやシーカヤック、シュノーケリングなどのいろんな海での遊びで楽しめます。</p> <p>・沖縄にはクラゲ防止ネット・監視員・シャワーなどを兼ね備えた、みんなが安全で気持ちよく過ごせるビーチが30以上あります。</p> <p>・3月から10月という、長い期間にわたって、沖縄の美しい海で海水浴(かすいよく)をすることができます。</p>

子供 男子グループ	子供 女子グループ
<p style="text-align: center;">◎ 海+それ以外の魅力</p> <p>◎海をさらに楽しむ →魚をたくさん見たい</p> <p>◎海以外(森)を楽しみたい →何があるか見たい、植物や野菜 →沖縄だけの虫がいるかもしれない →ジャングルは普通にはないから行ってみたい</p>	<p style="text-align: center;">○ 男子ほど積極的ではないが、魅力は感じている</p> <p>◎海をさらに楽しむ →ジンベエザメと泳ぎたい</p> <p>△海以外(森)もみてみたい →カヌーをやってみたい(男子ほど積極的ではない) →大きいカブトムシはつかまえてみたい →ジャングルは想像できない・行ったことがない</p>
<p style="text-align: center;">◎ 一番の魅力である海で楽しく遊ぶ</p> <p>◎危険な思いをすることなく、気持ちよく泳げるのはよい</p>	<p style="text-align: center;">◎ 一番の魅力である海で楽しく遊ぶ</p> <p>◎超楽しそう!</p>

③ 自由研究 (体験×学び)	遊びながら、自然やものづくりなどを学び、自由研究までできちゃう沖縄
	<ul style="list-style-type: none"> 旅行を楽しみながら、夏休みなどの自由研究が一緒にできます。 水族館でいっぱい魚を見たり、植物園でジャングルに生えているような植物を見たり、博物館に行ったりしながら、沖縄の自然や文化について、遊びながら学ぶことができます。 シーサー(ライオンのような形をした土の置物)づくりをしたり、カラフルなガラスのコップを作ったり、さとうきびという植物から砂糖を作ったりすることで、自分でおみやげをつくり、自由研究の工作をすることができます。

④ エコロジー	遊びや体験しながら自然にエコロジーをまなべる沖縄
	<ul style="list-style-type: none"> ジャングルのような森でカヌー(小さなふね)に乗ったり、誰もいない無人島(むじんとう)に行ったりする大冒険(だいぼうけん)をしながら自然の美しさややさしさを感じるすることができます。 海の水から塩をつくり、さとうきびから砂糖をつくり、体験などを通して、天然のものづくりを学ぶことができます。 再生ガラス工房(ガラスをリサイクルして、グラスや花瓶などをつくる場所)を見学したりして、自然保護やリサイクル、エコロジーなどについて、楽しみながら知ることができます。

① 定番観光 メイン	人気の観光スポットをまわる沖縄
	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄の中でも、とても人気のある観光スポットに、たくさん行くことができます。 沖縄のソバ、チャンプルー(いためもの)など、沖縄のおいしい料理を味わうことができます。 沖縄の青くすきとおった海など、ものすごくきれいな風景を見ることができます。 ショッピングモールなどで、お得にお買い物をできます。

子供 男子グループ 子供 女子グループ

○ 「沖縄ならではの」思い出が残りそう	◎ 全体的に楽しそう
◎沖縄ならではの体験をしたい →さとうきびなど、首都圏ではできないことをしたい ◎思い出に残る「おみやげ」を作りたい →シーサー作りはやりたい △水族館より自然の生き物が見たい →1名は「両方行きたい」が、多くは自然の中で見たい ×自由研究そのものがない	◎思い出に残るものづくり →全体的に楽しそう、特に3番目の文章 →やったことはないけど、楽しそう ◎植物園や博物館へも行きたい

○ 「沖縄ならではの」思い出が残りそう	◎ 「沖縄ならではの」思い出が残りそう
◎沖縄ならではの体験をしたい →塩作り・大冒険 ×再生ガラス工房 →沖縄でなくてもできるので →海に落ちているゴミでリサイクルや、いいものに変えることならやってみたい	◎沖縄ならではの体験をしたい →サトウキビからの砂糖作り →カヌーをやってみたい ×再生ガラス工房 →沖縄でなくてもできるので

○	○
○ショッピングモールはいろいろあるので楽しい	○お買い物は楽しいとおもう ○料理というより、意味や森で冒険することが楽しい